

令和6年度

**大阪大学人間科学部
第3年次編入学学生募集要項**

※令和5(2023)年10月1日からの郵便物の特殊取扱料の改定に伴い、募集要項5ページでお知らせしている「受験票」等送付用の返信封筒に貼付いただく切手代を変更しています。

【このPDFファイルは入学願書等の様式を含みません。】

出願にあたっては、教務係窓口または郵送請求にて「学生募集要項(冊子)」を入手のうえ、付属の様式を使用してください。

大阪大学人間科学部

令和6年度 大阪大学人間科学部 第3年次編入学学生募集要項

アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

人間科学部は、大阪大学の教育目標のもと、従来の文系・理系の枠にとらわれず、つねに新たな学際的領域に視野を広げながら、「人間と人間の営む社会を科学的に考察し、人間とは何かを見つめ、人間という存在を理解し、人間らしく生きていける社会を作り出すことに貢献できる有能な人材を育成することを目的」としています。人間と社会の全体像をさまざまな側面から理解するための取り組みの中では、自然科学・社会科学・人文科学などのさまざまな手法を縦横に用います。したがって、文科系・理科系のどちらか一方の学問に偏らず高等学校等でのあらゆる普通教育科目や専門教育科目を学修し、特定の学問領域にとらわれない好奇心旺盛な態度やさまざまなフィールドで実践的活動に参加する行動力を持ち、さらにグローバルな諸課題にも積極的に関与しようとする意欲や能力を備えている学生を強く求めています。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

3年次編入では、大学・短大・高専での多様な学問領域を一定程度学修し、それらの成果を発揮しつつ、本学部が求める人間や社会への学際的・国際的な洞察や実践的活動を可能とするような学生を選抜します。

1. 募集の趣旨

大阪大学人間科学部は、行動学、社会学、教育学、共生学など人間の行動・社会・形成の総合的研究に不可欠と考えられる文理両方の諸科学を取り入れ、独自の構想のもとに設置されたユニークな研究教育システムを展開しています。

本学部においては、わが国の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校を卒業（見込みを含む）した方、同一の大学又は同一の専門職大学に2年以上在学（見込みを含む）した方、あるいは外国において一定期間学校教育を受けた方に対し、下記の選抜方法による第3年次編入学学生を募集します。

2. 募集人員

10人

3. 募集方法

(A) 行動学、(B) 社会学、(C) 教育学、(D) 共生学 の学科目区分の中から一つを選択し、さらに選択した学科目の中から、志望する研究分野を二つ選択してください。

- ※1 学科目区分及び研究分野については、p8～9「令和5年度 担当教員研究内容一覧」を参照してください。
- ※2 選択した学科目以外の研究分野を選択することはできません。また、必ずしも志望する研究分野に配属されるとは限りません。
- ※3 願書提出後及び入学後の学科目区分の変更は、原則として認められません。

4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

号	出 願 資 格	備 考
(1)	日本の大学又は専門職大学を卒業した者（令和6年3月末日までに卒業見込みの者を含む。）	
(2)	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（令和6年3月末日までに授与される見込みの者を含む。）	
(3)	修業年限4年以上の日本の大学又は専門職大学において、休学期間を除き2年以上在学し、外国語8単位を含めて62単位以上を修得している者（令和6年3月末日までに修得見込みの者を含む。修得見込みの者は願書出願時において、外国語4単位を含む31単位以上修得済であること。）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学在学中の者を除く。 ・ 62単位については、当該大学の所属学部・学科において卒業要件として規定された科目に限る。 ・ 複数の大学又は複数の専門職大学の在学年数や修得単位数を合算することはできません。
(4)	日本の短期大学、専門職短期大学又は高等専門学校を卒業した者（令和6年3月末日までに卒業見込みの者を含む。）	
(5)	外国において、前(1)～(4)の各号に相当する学校教育における課程を修了した者（令和6年3月末日までに修了見込みの者を含む。）として認められた者 【表外《留意点》参照】	【出願資格(5)で前(3)に相当する者のみ】 「外国語8単位を含めて62単位以上」を「当該大学の卒業要件単位の1/2以上」、また「外国語4単位を含む31単位以上」を「当該大学の卒業要件単位の1/4以上」と読み替える。

《留意点》

※ 出願資格(5)により出願する者は、事前に出願資格審査（「5. 出願資格審査」参照）に申請の上、審査に合格する必要があります。

5. 出願資格審査

「4. 出願資格(5)」により出願資格審査を受けようとする者は、申請期間内に人間科学研究科教務係（p7「書類送付先及び問い合わせ先」参照。以下、「教務係」という。）に次の書類を郵送してください。（書類の準備にあたっては、表外の留意点も併せて確認すること。）

(1) 申請期間

令和5年7月18日（火）～令和5年7月20日（木）

上記申請期間に「簡易書留速達郵便」により到着したものに限り受理します。ただし、7月20日（木）以前（7月20日（木）を含む。）の発信局（日本国内）消印のあるものに限り、期限後に到着した場合でも受理します。

※ 1 必ず「簡易書留速達郵便」とし、封筒の表に「第3年次編入学試験出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

※ 2 直接持参による申請は受け付けません。

(2) 申請書類

No.	書 類	備 考	当該書類が必要となる 出願資格 (相当)			
			(1)	(2)	(3)	(4)
①	出願資格審査申請書	・ 本学部所定様式 《掲載場所》 大阪大学人間科学部ホームページ →学部受験生 →第3年次編入学試験 →出願資格審査について	○	○	○	○
②	卒業証明書 (見込み者は卒業見込証明書)	・ 出身(在籍)大学長(学部長)等が作成し、厳封された原本(写し不可)	○			○
③	学士の学位授与証明書 (見込み者は学士の学位授与見込証明書)	・ 学位を授与する機関の長が発行し、厳封された原本(写し不可)		○		
④	在学証明書 (入学年月日が記載されたもの。 休学期間がある場合は、休学期間も併せて記載されたもの。)	・ 出身(在籍)大学長(学部長)等が作成し、厳封された原本(写し不可)			○	
⑤	成績証明書	・ 出身(在籍)大学長(学部長)等が作成し、厳封された原本(写し不可) ・ 編入学や再入学により出身(在籍)大学等に入学し、既修得単位認定をした者は、編入学や再入学前の大学等の成績証明書も併せて提出すること	○	○	○	○
⑥	卒業要件科目及び単位数(卒業するために修得すべき科目及び単位数)が確認できる書類	・ 該当部分が記載された履修規程や学生便覧の写し			○	
⑦	返信用封筒	・ 市販の長形3号(縦23.5cm×12cm)に受取人の郵便番号、住所、氏名を明記し、404円切手を貼付すること。(内訳:定型郵便物84円、簡易書留料320円。郵便料金が改正された際は、改正後の料金分の切手を貼付してください。)	○	○	○	○

《留意点》

- ※ 1 フリクションボールペン(消せるボールペン)による記入は認めません。
- ※ 2 出願資格審査申請書等に記入する氏名と証明書に記載された氏名が改氏名等により異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。
- ※ 3 日本語または英語以外の言語で記載された証明書及び申請書類については、大使館や公証役場等の公的機関が証明した日本語または英語による訳文を添付してください。

(3) 出願資格審査結果通知

令和5年8月4日(金)に審査結果通知書を発送します。

1週間を過ぎても到着しない場合は、教務係(p7「書類送付先及び問い合わせ先」参照)に問い合わせてください。

6. 障がい等を理由とする特別な配慮について

障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する者は、原則として令和5年7月20日(木)までに教務係(p7「書類送付先及び問い合わせ先」参照)に問い合わせてください。

7. 出願手続

(1) 出願期間

令和5年8月28日（月）～令和5年8月31日（木）

上記申請期間に「簡易書留速達郵便」により到着したものに限り受理します。ただし、8月31日（木）以前（8月31日（木）を含む。）の発信局（日本国内）消印のあるものに限り、期限後に到着した場合でも受理します。（直接持参による出願は受け付けません。）

なお、受験票は10月中旬頃に発送します。（試験日の1週間前になっても到着しない場合は、教務係（p7「書類送付先及び問い合わせ先」参照）にお問い合わせください。）

(2) 出願書類

入学志願者は、本学部所定の封筒（本要項挟み込み）により、申請期間内に教務係（p7「書類送付先及び問い合わせ先」参照）に次の書類を郵送してください。（書類の準備にあたっては、表外の留意点も併せて確認すること。）

No.	書 類	備 考	当該書類が必要となる出願資格				
			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
①	編入学願書	・ 本学部所定様式(本要項挟み込み)	○	○	○	○	○
②	検定料収納証明書	・ 検定料の支払後にダウンロードできる書類をA4サイズで印刷提出すること。	○	○	○	○	○
③	編入学希望調査	・ 本学部所定様式(本要項挟み込み)	○	○	○	○	○
④	卒業証明書 (見込み者は卒業見込証明書)	・ 出身(在籍)大学長(学部長)等が作成し、厳封された原本(写し不可)	○			○	表外 ※2 参照
⑤	学士の学位授与証明書 (見込み者は学士の学位授与見込証明書)	・ 学位を授与する機関の長が発行し、厳封された原本(写し不可)		○			表外 ※2 参照
⑥	在学証明書 (入学年月日が記載されたもの。 休学期間がある場合は、休学期間も併せて記載されたもの。)	・ 出身(在籍)大学長(学部長)等が作成し、厳封された原本(写し不可)			○		表外 ※2 参照
⑦	成績証明書	・ 出身(在籍)大学長(学部長)等が作成し、厳封された原本(写し不可) ・ 編入学や再入学により出身(在籍)大学等に入学し、既修得単位認定をした者は、編入学や再入学前の大学等の成績証明書も併せて提出すること。	○	○	○	○	表外 ※2 参照
⑧	外部英語検定試験のスコア票	・ 令和5年8月28日から遡って2年以内に受験した i～iii のいずれかの 原本(確認用画面等の写し不可) i TOEFL-iBT 「Test Taker Score Report」 ※MyBest Scores は利用しない。 ※TOEFL-iBT Home Editionを含む。 ※TOEFL-ITPを除く。 ii TOEIC L&R及びTOEIC S&W 「Official Score Certificate」 ※L&R・S&W両方のスコアが必要。 ※TOEIC IPを除く。 iii IELTS (Academic Module) 「Test Report Form」 ※IELTS Indicatorを除く。 ・ 実施団体から大学に直接郵送することは認めない。	○	○	○	○	○
⑨	受験票・受験者写真票	・ 本学部所定様式(本要項挟み込み)に上半身正面向き・脱帽・無背景で願書提出日前3ヶ月以内に撮影したものを貼付すること。	○	○	○	○	○

No.	書 類	備 考	当該書類が必要となる出願資格				
			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
⑩	受験票等返信用封筒	・ 本学部所定封筒(本要項挟み込み)に返送先(受験者住所)を明記のうえ、 694円 分の郵便切手を貼付すること。(内訳：定型郵便物84円、速達料260円、簡易書留料 350円 。郵便料金が改正された際は、改正後の料金分の切手を貼付してください。)	○	○	○	○	○
⑪	公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験(N1)」の認定書の写し、または、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験(日本語)」の成績通知書の写し						○ 日本国籍以外の者のみ
⑫	在留カードの写し、または、特別永住者証明書の写し		○ 日本国内在住の外国人のみ				
⑬	パスポートの写し	・ 氏名が記載されたページ及び短期滞在ビザ所有者はそれが記載されたページの写し	○ 日本国外在住の外国人のみ				
⑭	出願書類送付用封筒	・ 本学部所定封筒(本要項挟み込み) ・ 裏面のチェックリストにより、必要書類が全てそろっていることを必ず確認すること。	○	○	○	○	○

《留意点》

- ※ 1 フリクションボールペン(消せるボールペン)による記入は認めません。
- ※ 2 ④⑤⑥⑦について、「4. 出願資格(5)」該当者で、出願資格審査の際に提出している場合は不要です。
- ※ 3 編入学願書等に記入する氏名と証明書に記載された氏名が改氏名等により異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。
- ※ 4 日本語または英語以外の言語で記載された証明書及び申請書類については、大使館や公証役場等の公的機関が証明した日本語または英語による訳文を添付してください。
- ※ 5 出願書類に不備がある場合は受理できません。

(3) 検定料

30,000円

- 支払い方法：検定料納入システムにより納入してください。

《留意点》

- ※ 1 検定料の納入期間は、令和5年8月21日(月)9:00～令和5年8月31日(木)17:00です。
- ※ 2 検定料納入後、検定料収納証明書をA4サイズで印刷し、願書と併せて提出してください。
- ※ 3 検定料納入システム利用時に発生する手数料は各自の負担となります。
- ※ 4 検定料納入方法の詳細は本学部ウェブサイトの第3年次編入学試験のページに掲載している「入学検定料支払いの流れ」を参照してください。
https://www.hus.osaka-u.ac.jp/ja/applicants_for_undergraduate/transfer_applicants.html
- ※ 5 教務係窓口における現金での受付はできませんので注意してください。

【注】納入済みの検定料は、次のア～オに該当する場合を除き、返還しません。

次のア～オに該当する者で検定料の返還請求を希望する者は、教務係(p7「書類送付先及び問い合わせ先」参照)にメール連絡のうえ、所定様式により返還請求してください。

- ア. 出願したが、受験資格が無かった場合
- イ. 出願書類受理期限後に出願書類が本学部に着した場合
- ウ. 出願書類に不備があり受理されなかった場合

- エ. 検定料を払い込んだが本学部に出願しなかった場合
- オ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

8. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、外部英語検定試験スコア、学力検査、編入学希望調書、成績証明書を総合して判定します。学力検査は、筆記試験（小論文、専門基礎科目）及び口述試験により行います。

受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(1) 外部英語検定試験スコアの換算

提出されたスコアを「英語」の成績とします。スコアの変換の目安は次のとおりです。

TOEFL-iBT Test Date Scoresのみを利用 (MyBest Scoresは 利用しません。)	TOEIC L&R及びS&W	IELTS	換算後の 「英語」成績
103	910	7.0	93
95	840	6.5	86
88	790	6.0	79
80	730	5.5	72
71	670	5.0	64

※TOEICについては、TOEIC S&W (400点満点) のスコアを2.5倍したものとTOEIC L&R (990点満点) のスコアを合算してから、990点満点に圧縮したものを活用します。

(2) 学力検査日程等

期 日	時 間	試 験 科 目
令和5年11月6日(月)	10:00~11:30(90分)	小 論 文
	13:00~14:00(60分)	専門基礎科目
	14:30~	口 述 試 験

ア. 小論文は、人間科学の諸分野の学習・研究に必要な適性と能力を判定します。

イ. 専門基礎科目は、人間科学の基礎的知識に関する試験を行います。

専門基礎科目は、志望する学科目区分の問題を選択してください。

ウ. 専門基礎科目の受験については、出願の際に届け出たもの以外で受験することはできません。

(3) 学力検査場所

学力検査は、大阪大学人間科学部棟で行います。

9. 合格者発表

日時：令和5年11月13日(月) 13:30頃

合格者には、編入学願書に記載された「受験のための連絡先」に郵送により通知します。

また、人間科学部ウェブサイトにも合格者受験番号一覧表を掲載する予定です。

なお、合否の照会には一切応じられません。

10. 入学手続

期間：令和6年3月4日(月)～令和6年3月6日(水)【必着】

(1) 合格者は、上記期間に簡易書留速達郵便により入学手続を完了させてください。

(2) 入学手続に関する詳細は、合格者に対して、編入学願書に記載された「受験のための連絡先」に郵送により通知します。

(3) 所定の期間内に入学手続を完了しない場合には、入学を辞退したものとして取り扱います。

(4) 入学金及び授業料

- 入学金……282,000円(令和5年4月現在)

○ 授業料……年額535,800円〔半期267,900円〕(令和5年4月現在)

※1 入学金・授業料の納入時期、納入方法等詳細については、別途入学手続き時に通知します。

※2 入学金・授業料の金額については変更することがあります。

また、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

11. 入学時期及び履修方法等

入学時期は、令和6年4月1日とし、修業年限は2年、在学年限は4年とします。

履修すべき授業科目、修得すべき単位数及び履修方法については、本学部学生に準ずるものとします。

12. 個人情報の取扱いについて

(1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導等）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係（奨学金申請等）」のために利用します。

(3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

(4) (1)及び(3)で得られた個人情報は、上記のほか、「入学者選抜方法及び大学教育の改善」、「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）」のために利用することがあります。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

13. その他

(1) 出願受付後は、出願内容等の変更及び出願書類の返還はできません。

(2) 入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(3) 自動車及び自動二輪（原動機付自転車を含む。）による大学構内への入構はできません。

(4) 受験のための宿泊施設等の斡旋は行いません。

(5) 自然災害や感染症の拡大等により日程や試験方法に変更が生じる可能性があります。

適宜、本学部ウェブサイトに掲載し、入学願書に記載されたメールアドレスに通知しますので、必ず確認してください。

令和5年5月

〔書類送付先及び問い合わせ先〕

大阪大学人間科学研究科教務係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2（本館北ウイング2階）

TEL06-6879-8012（直通）

大阪大学人間科学部ウェブサイト：<http://www.hus.osaka-u.ac.jp>

メールアドレス：jinka-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

問い合わせ等受付時間：平日の9時から11時30分、12時30分から17時
（年末年始、入試等の行事実施日等を除く。）

令和5年度 担当教員研究内容一覧

▼ 「編入学願書」の「志望研究分野」は、下表の太枠内から選択してください。

学科目	講座	研究分野	職等	担当教員	研究内容	
学 動 行 人 間 (A)	行動学	基礎心理学	教授	入戸野 宏	心理生理学 (特に脳波)、工学心理学、「かわいい」の実験心理学	
			教授	森川 和則	知覚 (特に視覚) と認知の実験心理学的研究 [令和6年3月退任予定]	
		応用認知心理学	教授	篠原 一光	日常的場面における行動と認知の実証的研究、認知人間工学、交通心理学	
		社会心理学	教授	三浦 麻子	コミュニケーション・集団過程に関する実験社会心理学研究	
			准教授	綿村 英一郎	法と心理、司法制度に関わる心理学研究	
		臨床死生学・老年行動学	教授	権藤 恭之	高齢期の認知機能の特徴、超高齢期における心理的発達、長寿要因の研究	
	行動学	環境行動学	教授	三好 恵真子	実践志向型地域研究による環境問題の課題解決、食と環境、人と自然との共生、環境修復・リサイクル技術開発	
			准教授	青野 正二	環境問題の諸要因と人間行動、騒音制御、音響学、環境評価、環境デザイン	
			准教授	小林 清治	「迷惑施設」の立地をめぐる紛争と合意形成に関する研究、環境問題と公共性	
		安全行動学	准教授	中井 宏	効果的な安全教育プログラムの開発と実践、不安全行動の個人差研究	
		行動生態学	比較発達心理学	教授	鹿子木 康弘	乳幼児を対象とした社会的認知に関する発達研究
			行動生理学	教授	八十島 安伸	学習・記憶・情動・行動選択の脳基盤についての行動神経科学的研究
	行動統計科学		教授	足立 浩平	多変量統計解析のモデルと解法の研究開発 [令和6年3月退任予定]	
			准教授	山本 倫生	統計的データ解析手法とその数理的基礎理論の研究開発	
		准教授	中野 良彦	運動と形態の系統発達から見た人類進化に関する研究		
		講師	勝野 史子	コミュニケーションに関する比較認知・行動学		
	講師	山田 一憲	霊長類の社会行動の至近要因・発達・適応的機能・進化に関する研究			
社 会 環 境 学 (B)	現代社会と社会理論		教授	川端 亮	まちづくり研究や新宗教研究を含む現代社会の研究	
			准教授	クロイドン・シルビア CROYDON Silvia	犯罪社会学、生命倫理学、人権理論と実践	
			准教授	山田 陽子	感情社会学、医療社会学、社会問題論、社会学史	
			准教授	遠藤 知子	福祉理論、社会政策、現代政治理論、デモクラシー論	
	経験社会学		教授	吉川 徹	計量社会意識論、社会階層論、学歴社会論	
			教授(兼) 現代社会と社会理論 研究分野	川端 亮	社会調査法、宗教性・宗教意識の研究、テキストの計量的分析法	
		准教授	五十嵐 彰	移民研究、排外意識・集団間関係研究		
	文化社会学		教授	山中 浩司	医療社会学、臨床文化史、科学社会学、テクノロジーの社会研究	
			教授	辻 大介	コミュニケーション論、メディア研究	
	基礎人間科学	科学哲学・分析哲学	教授	森田 邦久	科学史、科学哲学、科学技術社会論、分析哲学、分析形而上学	
哲学と質的研究		教授	村上 靖彦	現象学、現象学的な質的研究		
比較文明学		准教授	野尻 英一	哲学、社会理論、精神分析、表象文化論		
人類学			教授	福岡 まじか	アートの人類学的研究、文化表象と身体表象の人類学的研究、東南アジアの上演芸術研究、現代アートとポピュラーカルチャー研究	
			教授	白川 千尋	医療人類学、宗教人類学、アジア・オセアニア研究	
科学技術と文化		教授	森田 敦郎	科学技術の人類学、気候変動適応における科学技術と文化的想像力のダイナミズム、人新世の環境人文学		
	講師	鈴木 和歌奈	科学技術社会論、実験室の民族誌、ケア論、情動論			
教 育 学 (C)	臨床教育学	教育人間学	教授	岡部 美香	近代の教育人間学・人類学、子ども期 (インファンス) の教育思想史、教育民俗学	
		人間変容論	教授	藤川 信夫	人間の変化・変容のパターンに関する理論的及び実践的研究	
		教育工学	教授	西森 年寿	テクノロジー活用などの学習環境のデザインに関する研究	
			講師	後藤 崇志	人の主体的な社会適応を支える教育・学習過程の研究	
		教育心理学	教授	野坂 祐子	被害体験による影響とその回復に関する研究	
			教授	老松 克博	心理療法における宗教性、心身相関、自己愛、イメージ変容についてのユング心理学的・精神医学的研究 [令和6年3月退任予定]	
		臨床心理学		教授	野村 晴夫	心理療法、生涯発達における語り (ナラティブ) と記憶想起の機能の研究
				准教授	佐々木 淳	社交不安に関する研究及び認知行動療法の実践と研究
	教授(兼) 教育心理学 研究分野	野坂 祐子	被害体験による影響とその回復に関する研究			
	准教授	管生 聖子	周産期・精神科医療領域におけるこころのケア、グリーフケア、子育て支援			

令和5年度 担当教員研究内容一覧

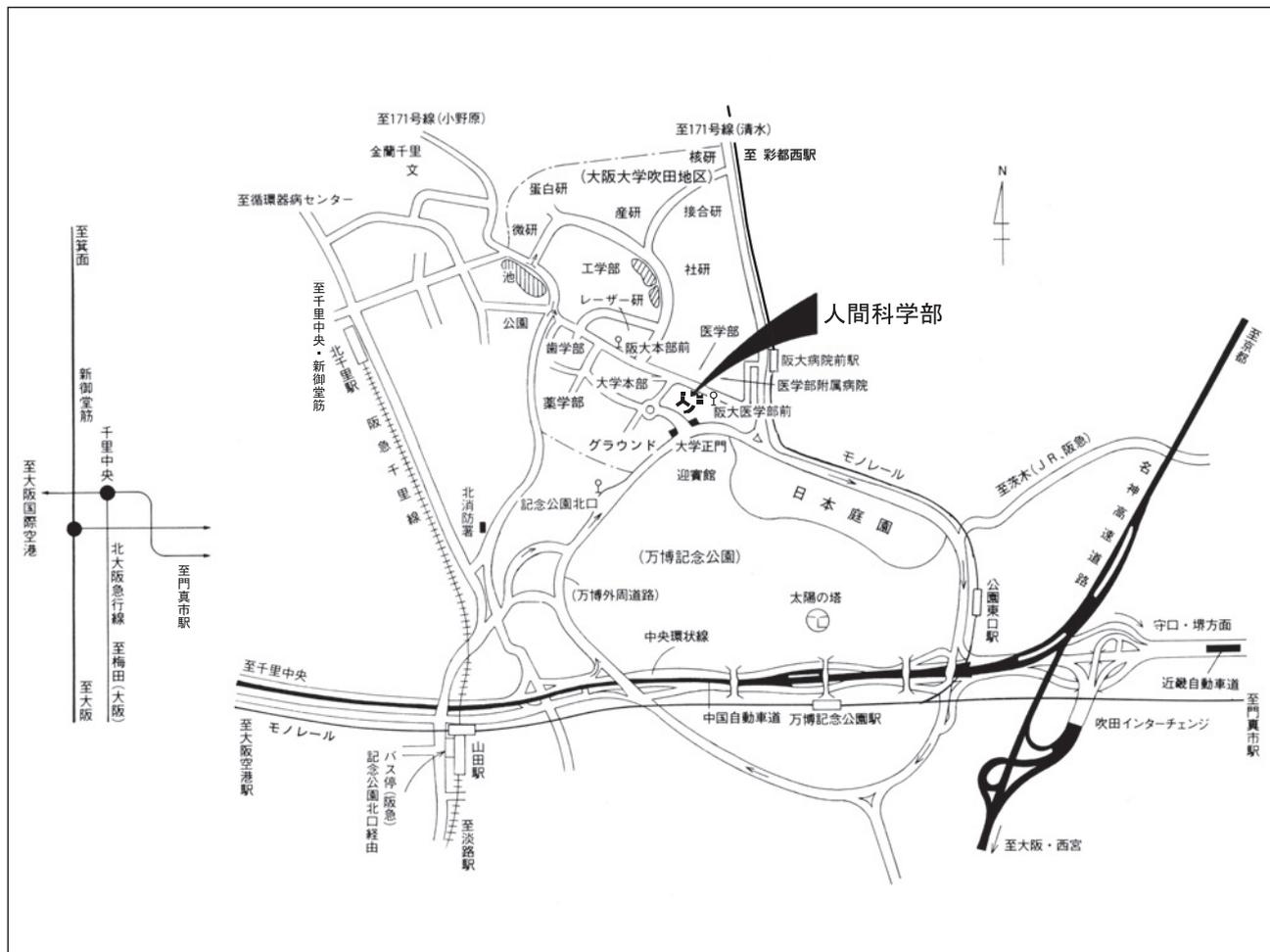
▼ 「編入学願書」の「志望研究分野」は、下表の太枠内から選択してください。

学科	講座	研究分野	職等	担当教員	研究内容
(C) 教育学	教育環境学	教育社会学	教授	木村 涼子	ジェンダーと教育に関する研究、ジェンダーに関する歴史社会学
			教授	荒牧 草平	社会構造やネットワークが人々の行為に与える影響の研究
		教育制度学	教授	園山 大祐	EU/フランス/マイノリティの教育政策・制度に関する比較国際研究
			准教授	高橋 哲	アメリカ/子どもの教育を受ける権利/教師の働き方/教員改革の日米比較
		生涯教育学	教授(兼)教育社会学研究分野	木村 涼子	ジェンダーと教育に関する研究、ジェンダーに関する歴史社会学
			教授	岡田 千あき	生涯スポーツ、コミュニティとスポーツ、開発と平和のためのスポーツに関する研究
		生涯教育学	准教授	北山 夕華	北欧/イギリス/多文化社会の教育実践と社会正義、シティズンシップ教育
教育文化学	教授(兼)共生社会論研究分野	志水 宏吉	教育システム・学校文化に関する社会学的研究		
	教授	高田 一宏	同和教育論、地域教育論、教育と福祉の連携に関する研究		
(D) 共生学	未来共生学	共生の人間学	教授	斉藤 弥生	社会福祉学、高齢者介護・地域福祉・ボランティア等に関する研究、北欧社会研究 ●令和5年4月、社会環境学「福祉社会学」研究分野から異動
			教授(兼)人間変容論研究分野	藤川 信夫	歴史的・文化的人間学、支援者・被支援者間の相互行為に関するドラマトゥルギー的研究
			准教授	近藤 和敬	共生の哲学・思想、現代フランス哲学、日本の思想
			准教授	中井 好男	ことばとその活動、ディスアビリティから共生を考える質的研究
		共生社会論	教授	稲場 圭信	利他主義・市民社会のアクション・リサーチ、ソーシャル・キャピタルとしての宗教に関する研究
			教授	志水 宏吉	教育における排除と包摂、格差社会のなかの公正に関する研究
		共生行動論	教授	千葉 泉	「自分らしさ」活用学、対話と共生、音楽的コミュニケーション、ラテンアメリカ地域研究 [令和6年3月退任予定]
			教授	渥美 公秀	ボランティア行動を介した被災者・被災地との共生に関するグループ・ダイナミックス研究
			教授(兼)臨床死生学・老年行動学研究分野	権藤 恭之	ソーシャルキャピタルが健康、寿命に与える影響の研究、長寿者の語りから見る幸福感の研究
		共生教育論	准教授	宮本 匠	災害復興、防災・減災、地域活動についてのアクションリサーチ
共生学	グローバル共生学	国際協力学	教授	エツロト・クリスティアン ETZRODT Christian	社会学理論、国際化、社会学教育、政治社会学、金融論
			教授	澤村 信英	比較国際教育学、国際教育開発論、アフリカにおける教育開発・国際協力に関する研究
		地域創生論	教授(兼)人類学研究分野	白川 千尋	国際協力活動の人類学的研究
			教授	杉田 映理	水・衛生・月経対処の諸問題、アフリカにおける社会開発・国際協力に関する研究、開発人類学
		コンフリクトと共生	教授	大谷 順子	国際保健・人口学、母子保健、国際災害社会学、中国・中央アジア地域の社会開発、研究方法論
			教授	河森 正人	東アジアの高齢者・障がい者福祉、共生のコミュニティづくりに関する研究、地方創生、タイ地域研究
			教授	藤目 ゆき	日本近現代史、アジア女性史、ジェンダー論
		コンフリクトと共生	教授【兼】GI機構	住村 欣範	地域創生に関する研究、東南アジアにおける食の近代化に関する研究、国際協力に関する研究
			准教授	モハーチ・ゲルゲイ MOHACSI Gergely	病気と創薬の比較民族誌研究、気候変動における植物と人間の共生、プラネタリーヘルス
			准教授	太田 貴大	生態系サービス、自然環境共生、自然環境政策、持続的な農林水産業、野生生物—人間関係
共生学	コンフリクトと共生	講師(兼)比較行動学研究分野	山田 一憲	利害の対立と葛藤解決がもたらす霊長類の社会進化、動物と人間の共生	

- (注) 1. この一覧表は令和5年4月1日現在で作成しています。以後の変更は人間科学研究科ウェブサイト (<https://www.hus.osaka-u.ac.jp>) 等でお知らせしますので、ご確認ください。
2. 職名の(兼)は研究科内兼任教員を、【兼】は研究科外の兼任教員を示します。職名の下を表記は所属を示します。なお、「GI機構」はグローバルイニシアティブ機構の略称です。
3. (兼)【兼】の教員については、その研究分野での指導教員になることはできません。

● 人間科学部所在地 ●

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1 - 2



※ 本学では車両による入構を規制しています。

○利用交通機関

〔バス〕 阪急バス 千里中央駅発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」(阪急山田駅経由)

近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR茨木駅経由)

いずれも、「阪大医学部前」または「阪大本部前」下車、徒歩約5分

〔モノレール〕 大阪モノレール「阪大病院前駅」下車西へ徒歩約10分 (万博記念公園駅のりかえ)

〔電車〕 阪急電車千里線 「北千里駅 (終点)」下車 東へ徒歩約30分